

公益財団法人不老会会員の皆様へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 研究課題名                 | 弁膜症手術に用いる心膜の力学的特性と可塑性の調査  |
| 研究機関の長( 試料・情報の管理責任者 ) | 愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次   |
| 研究責任者                 | ( 所属 ) 解剖学講座 ( 職名 ) 助教 ( 氏名 ) 梅本佳納榮   |
| 研究の対象となる方             | 研究実施承認日から 2028 年 11 月末までに医学教育に使用されるご遺体  |
| 研究期間                  | 研究実施承認日 ~ 2029 年 3 月 31 日   |
| 研究目的及び利用方法            | <p>〔研究目的〕</p> <p>心膜の力学的特性、可塑性を調査し、心膜の部位差を明らかにした後、固定液による心膜への影響を突き止め、心臓血管外科手術の手術内容に適した心膜部位の採取や部位特異的な差異を応用した自己心膜弁の開発を目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>御遺体の心膜の厚さ・面積を計測します。また、引張試験装置 (IMADA CO., LTD, Japan) を用いて強度検査を行った後、組織硬度計 MyotonPRO (MyotonAS, Tallinn, Estonia) を用いて、心膜の表面の弾力性・硬度を 5 回計測し、その平均値を求めます。さらに、心膜の HE 染色、導電染色を行い、心膜の微細構造を確認します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>「非該当」</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>「非該当」</p> |
| 研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目  | <p>試料：心膜の組織</p> <p>情報：献体登録時の情報</p>  |
| 提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者 | 「非該当」   |
| 試料・情報を利用する学外の者        | 「非該当」   |
| 試料・情報の利用又             | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028 年 12 月 31  |

|                 |   |
|-----------------|---|
| は提供を希望しない<br>場合 | 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。  |
| 外国への試料・情報の提供    | 「非該当」   |
| 問い合わせ先          | 愛知医科大学医学部 解剖学講座<br>担当者：助教 梅本佳納榮<br>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1<br>電話 0561-62-3311 (内線 1 2 2 5 6 ) |